

2019年11月28日

会員各位

社会系教科教育学会会長 關 浩和  
研究発表大会実行委員長 桑原敏典

## 2019年度

### 社会系教科教育学会 第31回研究発表大会（第一次案内）

向寒の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2019年度 社会系教科教育学会 第31回研究発表大会を下記の要項で開催することとなりました。会員の皆様方はもとより、会員以外の方々にも広くお呼びかけいただきまして、多数ご参加くださいますよう、ご案内かたがたお願い申し上げます。

つきましては、研究大会への参加の有無、自由研究発表の申し込み、情報交換会の参加申し込み等を所定の方法により期限までにご通知くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

記

#### I 研究大会要項

1 日程 2020年2月22日（土）・23日（日）

第1日（2月22日）

9:00	9:30	12:00	13:30	17:00	17:45	
	受付	自由研究発表1	理事会 昼食	シンポジウム	総会	情報 交換会
						18:00 19:30

第2日（2月23日）

9:00	9:30	12:00	13:00	16:30
	受付	自由研究発表2	昼食	課題研究発表 課題研究Ⅰ・Ⅱ

2 場所 岡山理科大学 岡山キャンパス（〒700-0005 岡山市北区理大町1-1）

3 主催  社会系教科教育学会

4 後援（予定） 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会

国立大学法人兵庫教育大学 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会

加東市教育委員会

## 5 内容

### (1) 大会テーマ及びシンポジウム

# AI 時代に向けた社会系教科の展望

AI の進化と浸透によって、世の中が大きく変化することが予想される。便利で新しいサービスを生み出すなど、AI の活用は大きな可能性を持っている。その一方で、今後、多くの仕事が AI に取って代わられるなどの予測も見られる。このような時代の到来を前にして、社会系教科にとって議論しておくべき重要な点は、AI 時代の民主主義社会を担う資質・能力育成のあり方についてである。AI が政策決定に導入されることで、データに基づく「最適解」が導かれるようになる。そのプロセスは人々が議論して決定するよりも早く、そして、合理性の高いものとなりうる。AI 時代の到来は、試行錯誤を前提としている民主主義の根幹をゆさぶるものとなるだろう。社会系教科は AI 時代の到来にどのように向き合えばよいのだろうか。

本大会（シンポジウム）では、AI 時代に向けた社会系教科の方向性について議論するために、以下のような問いを立てたい。①これからの民主主義社会の形成者に求められる資質・能力とはどのようなものか、②そのような資質・能力を育成する授業はどのようなものか。これらの問いに対する登壇者の提案をもとに、参加者との議論を通して、AI 時代に向けた社会系教科の可能性を探りたい。

課題研究においては、シンポジウムの議論を引き継ぎ、AI 時代に向けた社会系教科の授業づくりの視点と方法について、発表者の立場からそれぞれの具体像を探りたい。

シンポジスト	田本正一（山口大学） 土肥大次郎（長崎大学） 長田健一（就実大学）
指定討論者	關 浩和（兵庫教育大学） 溝口和宏（鹿児島大学）
司 会	桑原敏典（岡山大学） 小川正人（環太平洋大学）

## (2) 課題研究

### 課題研究Ⅰ AI時代に向けた初等社会科の授業づくり

課題研究Ⅰでは、AI時代に向けた①これからの民主主義社会の形成者に求められる資質・能力とはどのようなものか、②そのような資質・能力を育成する授業はどのようなようになるのか、というシンポジウム提案に基づき、より具体的な、AI時代に向けた小学校社会科授業づくりの可能性について議論する。

発表者には、AI時代（Society 5.0も含む）に向けて小学校段階では、どのような資質・能力を育むべきか、また、どのような視点に基づき教材開発・授業開発をするべきか、について具体的な開発事例をもとに提案していただく。そして、相互の共通点・相違点について検討した上で、これまでの社会科授業と何が違い、何が変わらないのかを話し合いたい。発表者、指定討論者、フロアー参加者とともに、AI時代に向けた小学校社会科授業づくりの方向性について議論を深めたいと考えている。

発表者	岩坂尚史（お茶の水女子大学附属小学校） 森 清成（兵庫教育大学附属小学校） 神野幸隆（広島大学附属三原小学校）
指定討論者	吉田正生（文教大学）
コーディネーター	松岡 靖（京都女子大学）

### 課題研究Ⅱ AI時代に向けた中等社会系教科の授業づくり

課題研究Ⅱでは、シンポジウム「AI時代に向けた社会系教科の展望」の提案を踏まえ、より具体的な中等社会系教科の授業づくりの可能性について議論する。学校現場の教師が想定している「AI時代の社会」に対する考え方は学校種などによって異なっており、教科の目標となる資質・能力に対する捉え方も多様であると考えられる。

このことから中学校や高等学校を主な授業実践のフィールドとする発表者には、①社会系教科を通して育成を目指す資質・能力をどのように捉えているのか、②それを育成するためにはどのような教材開発や授業開発を行っていけばいいのかという点を中心に、具体的な授業事例に基づき発表していただく。そして、相互の共通点・相違点について検討した上で、これからのAI時代に向けた中等社会系教科の授業の在り方について、発表者、指定討論者とフロアー参加者との議論を通して、議論を深めたいと考えている。

発表者	井上昌善（愛媛大学） 岩渕公輔（府中市立府中第四中学校） 河合豊明（品川女子学院）
指定討論者	中原朋生（環太平洋大学） 渡部竜也（東京学芸大学）
コーディネーター	井上昌善（愛媛大学）

## 6 参加費

3,500 円（事前振込の場合は，3,000 円），情報交換会 5,000 円（A1 号館 11 階ラウンジ）

## 7 昼食

第 1 日目，2 日目ともに A1 号館地下 1 階の学生食堂がご利用いただけます。  
学内にはコンビニもございます。

## 8 事前振込口座

郵便振替 社会系教科教育学会大会実行委員会 01350-1-110603

**※ 本口座は，大会専用の口座ですので，年会費を一緒に振り込むことはできません。**

## II 参加・発表の申し込みについて

- 1 自由研究発表は，個人研究，共同研究の別は問いませんが，会員の方に限定します。  
（発表時間 20 分，質疑 10 分の予定です。）

### **発表申し込みは，Web 受付のみで行います。**

学会のサイトに，発表申し込みサイトを設定しております。

<http://essdra.fan-site.net/>

- (1) 自由研究発表申し込みの締切日 **2019 年 12 月 24 日（火）必着**

- (2) 発表要旨集録原稿の締切日

発表申込者には，発表要旨集録原稿をご執筆いただきます。

**2020 年 1 月 20 日（月）必着**で，web サイトから送付してください。

- (3) 参加申し込みの締切日 **2020 年 1 月 20 日（月）必着**

- (4) 参加費事前振込の締切日 **2020 年 1 月 21 日（火）必着**

- 2 液晶プロジェクターは，すべての教室に設置してあります。

PC 及び変換アダプター，その他の機器は，各自でご持参ください。

※ VGA につきましてはケーブルが設置してありますが，HDMI につきましては，ケーブルがございませんので，使用される場合は各自でご用意ください。

- 3 宿泊につきましては，各自での手配をお願いいたします。

## III 問い合わせ先

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学大学院教育学研究科

研究発表大会実行委員会事務局 山田秀和

TEL : 086-251-7624

E-mail : hiyamada@okayama-u.ac.jp